

(公営企業会計決算)

1. 令和7年度に総務省が調査した「令和6年度地方公営企業決算状況調査」を基礎に編集したものである。
2. 令和7年3月31日現在における決算状況である。
3. 用語の説明

(1) 累積欠損金比率 (%) (法適用企業)	$= \frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$		
(2) 不良債務比率 (%) (法適用企業)	$= \frac{\text{不良債務}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	※不良債務：流動負債－建設改良等の財源に充てた企業債・長期借入金－PFI法に基づく事業に係る建設事業費等のリース債務－(流動資産－翌年度繰越財源)	
(3) 赤字比率 (%) (法非適用企業)	$= \frac{\text{実質赤字額}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$		
(4) 収益的収支比率 (%) (法非適用企業)	$= \frac{\text{総収益}}{\text{総費用}+\text{地方債償還金}} \times 100$		
(5) 自己資本構成比率 (%)	$= \frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$		
(6) 固定資産対長期資本比率 (%)	$= \frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定資産}+\text{繰延収益}} \times 100$		
(7) 流動比率 (%)	$= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$		
(8) 経常収支比率 (%)	$= \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$		
(9) 営業収支比率 (%)	$= \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$		
(10) 企業債元金償還金対減価償却額比率 (%)	$= \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入}} \times 100$		
(11) 企業債元金償還金対料金収入比率 (%)	$= \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$		
(12) 企業債利息対料金収入比率 (%)	$= \frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$		
(13) 企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	$= \frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$		
(14) 職員給与費対料金収入比率 (%)	$= \frac{\text{職員給与費 (特別損失のうちの職員給与費を含む)}}{\text{料金収入}} \times 100$		
(15) 自己資本回転率 (回)	$= \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \div 2}$	※自己資本：資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益	
(16) 固定資産回転率 (回)	$= \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2}$		
(17) 未収金回転率 (回)	$= \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \div 2}$		
(18) 料金単価 (法適用企業)	a 水道 $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	b 工業用水道 $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量 (料金算定分)}}$	c 下水道 $\frac{\text{料金収入}}{\text{有収水量}}$
(19) 供給原価 (法適用企業)	a 水道 $\frac{\text{経常費用}-\text{長期前受金戻入}-\text{(受託工事費}+\text{附帯事業費}+\text{材料及び不用品売却原価)}}{\text{年間総有収水量}}$	b 工業用水道 $\frac{\text{経常費用}-\text{長期前受金戻入}-\text{(受託工事費}+\text{附帯事業費}+\text{材料及び不用品売却原価)}}{\text{年間総有収水量 (料金算定分)}}$	c 下水道 (汚水処理原価) $\frac{\text{汚水処理費}}{\text{有収水量}}$